

1	1966	4.22 望遠鏡の倍率について
2	1966	5.27 星図の見方と星空の観察
3	1966	6.24 時はどうして生まれるか
4	1966	7.22 人工衛星とその成果
5	1966	8.26 宇宙の構造
6	1966	9.22 掩蔽観測について
7	1966	10.28 月に関する最近の話題
8	1966	11.25 山と星と音楽
9	1966	12.23 準星について
10	1967	1.27 1967年の天文現象について
11	1967	2.24 星図を観測しよう
12	1967	3.24 接近する火星
13	1967	4.28 星座の研究
14	1967	5.26 掩蔽観測について
15	1967	6.23 人工惑星と火星金星
16	1967	7.28 星間物質について
17	1967	8.25 太陽について
18	1967	9.22 月食と日食について
19	1967	10.27 写真観測について
20	1967	11.24 流星群と彗星
21	1967	12.22 クリスマスと星
22	1968	1.26 1968年の天文現象について
23	1968	2.23 星の性質について
24	1968	3.26 銀河系について
25	1968	4.26 星の位置の表し方
26	1968	5.24 望遠鏡の種類と構造
27	1968	6.28 変光星
28	1968	7.26 太陽系の力学的特徴
29	1968	8.23 星のスペクトル
30	1968	9.27 天文台めぐり
31	1968	10.25 衛星系の特徴
32	1968	11.21 銀河系の渦構造について
33	1968	12.20 1969年の天文現象について
34	1969	1.24 大気圏外よりの太陽観測
35	1969	2.28 小惑星について
36	1969	3.28 宇宙の膨張
37	1969	4.19 X線の見つかるまで
38	1969	5.17 木星と土星
39	1969	6.21 観測条件について
40	1969	7.19 月の問題点
41	1969	8.16 太陽黒点について
42	1969	9.20 銀河系の電波観測
43	1969	10.18 時刻の決め方
44	1969	11.16 パルサーとキューサー
45	1969	12.20 1970年の天文現象について
46	1970	1.17 地球の形と運動
47	1970	2.21 黄道光について
48	1970	3.21 星の運動について
49	1970	4.17 月と地球の年齢
50	1970	5.16 [50回記念]日食観測
51	1970	6.20 星の進化
52	1970	7.18 星食と惑星食
53	1970	8.15 太陽表面現象

54	1970	9.19 星の位置決定
55	1970	10.17 月ロケットの成果
56	1970	11.21 冥王星の不思議な運動
57	1970	12.18 1971年の天文現象について
58	1971	1.16 星座とギリシャ神話
59	1971	2.20 スペクトル写真の撮り方
60	1971	3.20 アンドロメダ星雲
61	1971	4.17 彗星の観測
62	1971	5.22 電波天文学入門
5周年	1971	6.05 太陽系の起源
63	1971	6.18 火星の大接近
64	1971	7.17 流星観測のために
65	1971	8.21 太陽系外の惑星の存在
66	1971	9.18 偉大な天文学者
67	1971	10.16 暦の決め方
68	1971	11.20 カニ星雲の謎
69	1971	12.17 1972年の天文現象について
70	1972	1.22 一等星見てある記
71	1972	2.19 拡がりつつある宇宙
72	1972	3.18 天体の距離決定
73	1972	4.22 銀河系外星雲
74	1972	5.20 爆発する宇宙
75	1972	6.17 うるう秒
76	1972	7.15 球状星団
77	1972	8.19 太陽面に何が見えるか
78	1972	9.16 宇宙人との通信
79	1972	10.21 月面図
80	1972	11.18 恒星の運動
81	1972	12.15 1973年の天文現象について
82	1973	1.20 星雲星団の見つけ方
83	1973	2.17 小惑星の運動
84	1973	3.17 マゼラン星雲
85	1973	4.21 宇宙の年齢
86	1973	5.19 水星の運動
87	1973	6.23 新発見の系外星雲マァフェイ
88	1973	7.28 流星群と彗星
89	1973	8.18 脈うつ星
90	1973	9.12 シュミット望遠鏡
91	1973	10.20 地球の運動
92	1973	11.16 ビックベア湖の太陽観測
93	1973	12.14 1974年の天文現象について
94	1974	1.26 変光星の眼視観測
95	1974	2.16 恒星の運動
96	1974	3.16 散開星団プレアデとヒアデス (1974年度は休講)
97	1975	4.26 太陽系の星
98	1975	5.24 星の位置の決め方
99	1975	6.28 宇宙にはなにがあるか
100	1975	7.18 [100回記念]日食月食の起こる訳
101	1975	8.23 生きている太陽
102	1975	9.27 青い星黄色い星赤い星
103	1975	10.18 [10周年記念]太陽系はどのようにして生まれたか

104	1975	11.22 変光星を観測しよう
105	1975	12.20 オリオン星雲
106	1976	1.24 宇宙のはてには？
107	1976	2.21 星間塵とは
108	1976	3.20 回転する銀河系
109	1976	4.24 H R図とは
110	1976	5.22 X線天文学の人工衛星
111	1976	6.19 新星超新星
112	1976	7.24 惑星状星雲
113	1976	8.28 銀河の腕
114	1976	9.25 極運動と地球内部
115	1976	10.23 ブラックホール
116	1976	11.27 星間分子
117	1976	12.25 星座
118	1977	1.22 惑星の自転と衛星の運動
119	1977	2.26 オーストラリア日食
120	1977	3.26 星の位置
121	1977	4.16 星の形成
122	1977	5.12 赤外線天文学
123	1977	6.18 日本の気球観測とロケット観測
124	1977	7.23 隕石を求めて
125	1977	8.20 星のスペクトル
126	1977	9.17 彗星
127	1977	10.22 星の運動と地球
128	1977	11.19 月のレーザー観測
129	1977	12.17 時刻の決め方
130	1978	1.21 宇宙開発計画
131	1978	2.18 観測機器の発達
132	1978	3.18 銀河の中心
133	1978	4.21 惑星の観測
134	1978	5.20 天体写真について
135	1978	6.17 星の旅
136	1978	7.22 流星観測
137	1978	8.19 1979年の天文現象
138	1978	9.30 変光星の観測
139	1978	10.21 外国の天文台
140	1978	11.18 天王星の輪
141	1978	12.23 星座の歴史
142	1979	1.20 活動期の太陽
143	1979	2.17 暗黒星雲
144	1979	3.17 太陽系の謎
145	1979	4.20 隕石の謎
146	1979	5.19 夜間大気光
147	1979	6.16 彗星の搜索
148	1979	7.21 彗星と流星
149	1979	8.18 変光星の話
150	1979	9.22 [150回記念]望遠鏡の発達史
151	1979	10.20 最近の惑星観測
152	1979	11.17 太陽面現象
153	1979	12.22 銀河の彼方
154	1980	1.19 オリオン星雲の謎
155	1980	2.16 月面クレーターの成因

156	1980	3.15 45メートル電波望遠鏡
157	1980	4.18 太陽系の小天体
158	1980	5.17 銀河の構造
159	1980	6.21 輝く散光星雲
160	1980	7.19 ペルーの太陽観測
161	1980	8.16 シュミットカメラで探す青い星
162	1980	9.20 カニ星雲
163	1980	10.18 岡山天体物理観測所
15周年	1980	11.01 月と地球の歴史
164	1980	11.15 赤外線で見た銀河系
165	1980	12.20 星と生活
166	1981	1.17 スペースシャトルの天体観測
167	1981	2.21 冥王星の衛星
168	1981	3.20 テレビカメラで見る星と星雲
169	1981	4.17 ボエジャー計画の成果
170	1981	5.16 ガスと塵でできた惑星
171	1981	6.20 小惑星の明るさ
特別記念	1981	7.03 世界の天文学界を語る
172	1981	7.18 小惑星の運動
173	1981	8.15 流星観測と流星の起源
174	1981	9.19 彗星の観測
175	1981	10.17 惑星状星雲
176	1981	11.21 惑星系の誕生と場所
177	1981	12.19 宇宙塵の起源
178	1982	1.17 隕石と隕石孔
179	1982	2.20 惑星小惑星の観測
180	1982	3.20 太陽活動地球
181	1982	4.16 太陽系の星ぼし
182	1982	5.15 反射星雲と暗黒星雲の星ぼし
183	1982	6.19 銀河の星ぼし
184	1982	7.17 太陽周辺の星ぼし
185	1982	8.21 電波で見た星ぼし
186	1982	9.18 大爆発する星ぼし
187	1982	10.16 散光星雲の星ぼし
188	1982	11.20 赤外線で見た星ぼし
189	1982	12.18 球状星団の星ぼし
190	1983	1.22 銀河系の腕にある星ぼし
191	1983	2.19 惑星状星雲の星ぼし
192	1983	3.19 散開星団の星ぼし
193	1983	4.15 ハレー彗星
194	1983	5.14 「ひのとり」で見た太陽
195	1983	6.25 「はくちょう」で見た宇宙
196	1983	7.16 これらかの光学天文学
197	1983	8.20 最新の電波望遠鏡
198	1983	9.17 宇宙における生命
199	1983	10.15 爆発する宇宙
200	1983	11.19 日本の天文学
201	1983	12.17 宇宙の地平線
202	1984	1.21 銀河と宇宙
203	1984	2.18 恒星の世界
204	1984	3.17 星間ガスと星の誕生
		(以下の12講を、1974年度休講分補講として追加)
205	1981	6.27 ハーセルと天王星の発見

206	1981	10.03 銀河への世界
207	1981	11.07 宇宙の広がり
208	1981	12.05 重力波と天文学
209	1982	9.04 科学博物館の20センチ望遠鏡とともに
210	1982	10.20 星の手帖と天文ファン
211	1982	11.06 新天体を求めて
212	1982	12.04 渋谷プラネタリウムと天文ファン
213	1983	9.03 日食はなぜ起きるか
214	1983	10.10 日食と地球の運動
215	1983	12.03 気球による日食観測
216	1983	11.05 日食とコロナ
217	1984	4.20 日本の隕石
218	1984	5.26 ハレー彗星
219	1984	6.16 電波で見る太陽
220	1984	7.18 200億年の宇宙旅行
221	1984	8.18 地球の運動
222	1984	9.29 太陽系の天体
223	1984	10.20 変光星の観測
224	1984	11.17 連星の性質
225	1984	12.15 原始太陽系の観測
226	1985	1.19 銀河の世界
227	1985	2.16 銀河系の広がり
228	1985	3.16 月と衛星
特別記念	1985	9.22 世界一の星像を誇る
229	1985	4.20 隕石はどこからきたか
230	1985	5.18 駿台学園のハレー彗星観測
231	1985	6.15 写真で見る星座
232	1985	7.20 天体望遠鏡
233	1985	8.17 神話の中の星ぼし
234	1985	9.21 太陽黒点
235	1985	10.19 流星をとらえる
20周年	1985	11.09 天文学の未来
236	1985	11.16 流星塵を集める
237	1985	12.21 電波でとらえた流星
238	1986	1.18 接近したハレー彗星
239	1986	2.15 惑星間塵の性質
240	1986	3.15 宇宙時代の科学
241	1986	4.25 ハレー彗星観測行
242	1986	5.24 彗星小惑星の軌道計算
243	1986	6.21 彗星の起源は
244	1986	7.19 電波で見たハレー彗星
245	1986	8.16 探査機によるハレー彗星観測
246	1986	9.20 ハレー彗星観測総まとめ
247	1986	10.18 天体写真を撮ろう
248	1986	11.15 彗星を探そう
249	1986	12.20 彗星と流星
250	1987	1.17 太陽黒点を見る
251	1987	2.21 太陽と太陽系
252	1987	3.28 天文学の楽しみ方
253	1987	4.17 最近の隕石落下について
254	1987	5.16 小惑星を探そう
255	1987	6.20 電波で見た宇宙
256	1987	7.18 生まれたての星ぼし

257	1987	8.15 天体写真を撮る
258	1987	9.18 天体をテレビカメラで見る
259	1987	10.17 四季の星座
260	1987	11.21 超新星を探る
261	1987	12.19 人工衛星をとらえる観測しよう
262	1988	1.16 観測トラベラー
263	1988	2.20 皆既日食の観測
264	1988	3.26 宇宙はどこまで広がっているか
265	1988	4.15 アマチュア天文家の活動と期待
266	1988	5.21 人工衛星とその観測
267	1988	6.18 タダから100億円の天文学
268	1988	7.16 彗星の観測
269	1988	8.20 変光星の観測
270	1988	9.17 大接近した火星
271	1988	10.22 古天文学の話
272	1988	11.19 太陽黒点観測
273	1988	12.17 流星観測
274	1989	1.21 位置天文学の現在と未来
275	1989	2.25 星の温度
276	1989	3.18 最先端の天文学
277	1989	4.15 地球と宇宙を結ぶもの
278	1989	5.20 1991年の日食のために
279	1989	6.17 1990年代の世界の惑星探査
280	1989	7.15 マスメディアにおける天文学
281	1989	8.19 望遠鏡の使い方
282	1989	9.16 宇宙線のふるさと
283	1989	10.21 これからの天体写真術
284	1989	11.18 望遠鏡の開発
285	1989	12.16 スペースV L B I—0.0001秒での観測
286	1990	1.20 人工衛星をとらえる
287	1990	2.24 ハッブル宇宙望遠鏡
288	1990	3.17 天文計算を楽しむ
289	1990	4.21 天文学事始め
290	1990	5.19 宇宙の誕生
291	1990	6.16 銀河形成と宇宙
292	1990	7.21 銀河系の構造
293	1990	8.25 星の一生
294	1990	9.22 太陽系の誕生
295	1990	10.20 放浪する彗星
296	1990	11.17 宇宙における宇宙
297	1990	12.15 近づく流星雨
298	1991	1.19 隕石と隕石孔
299	1991	2.16 宇宙の終えん
300	1991	3.16 [300回記念]日本と世界の天文学
301	1991	4.20 日本と世界の天文学
302	1991	5.18 ハワイメキシコ皆既日食
303	1991	6.15 彗星の尾
304	1991	7.20 銀河の形成と構造
305	1991	8.17 変光する白色矮星
306	1991	9.21 最近の太陽活動
307	1991	10.19 太陽を見つめて
308	1991	11.16 天文と生活
309	1991	12.21 数式を使わない宇宙論

310	1992	1.18 太陽の電波像
311	1992	2.15 太陽系外の惑星探査
312	1992	3.21 望遠鏡の話題
313	1992	4.18 野辺山経由銀河行き
314	1992	5.16 不思議な星
315	1992	6.20 動きだしたV S O P
316	1992	7.18 日食観測の話題
317	1992	8.15 ポポカテペルト山での日食観測
318	1992	9.19 彗星とその起源
319	1992	10.24 彗星の分光撮像観測
320	1992	11.21 専用計算機が描く銀河
321	1992	12.19 干渉計による高分解能イメージング
322	1993	1.16 光で見る銀河と宇宙
323	1993	2.20 小惑星の衝突
324	1993	3.20 アマチュアとプロの狭間で
325	1993	4.17 電波天文学の未来
326	1993	5.15 動きだした「すばる望遠鏡」
327	1993	6.19 電波ヘリオグラフが見た太陽
328	1993	7.17 中学生の夢ー宇宙の果てに何があるか
329	1993	8.21 神話を探る
330	1993	9.18 「天文」なぜどうして？
331	1993	10.23 はくちょう座新星
332	1993	11.20 変光星の観測
特別記念	1993	11.27 [地球衝突小惑星フォーラム] 地球に衝突する小惑星
333	1993	12.18 天文学と人間
334	1994	1.22 クェーサーの謎
335	1994	2.26 夜空になにが見えるか
336	1994	3.19 宇宙と気象
337	1994	4.16 国境のない星
338	1994	5.21 星の一生と新星
339	1994	6.18 地球に接近する小惑星
340	1994	7.16 水金地火木土天冥海
341	1994	8.20 プラネタリウムと天体観望
342	1994	9.17 太陽近傍にある星ぼし
343	1994	10.22 皆既日食と太陽観測
344	1994	11.19 天体探査と追究観測
345	1994	12.17 アイルランドが生んだ天文学者「ハミルトン」
346	1995	1.21 奇妙な星たち
347	1995	2.25 星か花か
348	1995	3.18 宇宙放射線と地球
349	1995	4.15 宇宙と人間
350	1995	5.20 宇宙に舞う天文衛星
351	1995	6.17 地球外生命を求めて
352	1995	7.15 ビックバンと宇宙の誕生
353	1995	8.16 星座と春夏秋冬
354	1995	9.16 電波が見る宇宙
355	1995	10.28 宇宙と生命
356	1995	11.18 超新星と元素の起源
357	1995	12.16 電波で聴く宇宙のさざ波
358	1996	1.20 マゼラン雲と銀河系の相作用
359	1996	2.24 地球環境と宇宙環境
360	1996	3.16 [30周年記念] 21世紀の天文学
361	1996	4.20 天文よもやま話

362	1996	5.18 シュミレーションで見る太陽系天体
363	1996	6.15 電波で見た太陽像
364	1996	7.13 望遠鏡で眺める太陽
365	1996	8.17 新天体を求めて
366	1996	9.21 黒い太陽を追って
367	1996	10.26 変光する星たち
368	1996	11.16 ヘールボップ彗星は明るくなるか
369	1996	12.21 1979年の天文界
370	1997	1.18 宇宙は何歳か？
371	1997	2.15 太陽系外の惑星
372	1997	3.15 UFOはいるか
373	1997	4.19 宇宙のはなし
374	1997	5.17 星と人権と
375	1997	6.21 小惑星を求めて
376	1997	7.19 放浪する彗星ほうき星
377	1997	8.16 神話の誕生
378	1997	9.20 最近の天体望遠鏡
379	1997	10.25 しし座流星群
380	1997	11.15 宇宙に飛び出した電波望遠鏡
381	1997	12.20 初歩の天体物理学入門
382	1998	1.17 小天体の衝突によるカタストロフ
383	1998	2.21 暗い夜をとりもどそう
384	1998	3.14 宇宙生命は存在するか
385	1998	4.18 宇宙を探る
386	1998	5.16 太陽系の天体たち
387	1998	6.20 小惑星の発見
388	1998	7.18 星空旅芸人の記録
389	1998	8.22 木星に衝突した彗星
390	1998	9.19 星座の誕生と天文学
391	1998	10.24 しし座流星群
392	1998	11.21 宇宙電波はどこからくるのか
393	1998	12.19 宇宙の読み方歩き方
394	1999	1.16 未来の宇宙開発
395	1999	2.27 星を見る人見ない人
396	1999	3.20 宇宙はどこまでわかったか
397	1999	4.18 宇宙
398	1999	5.15 ちょんまげ頭で見た天体
399	1999	6.19 太陽コロナを求めて
400	1999	7.10 [400回記念] 21世紀の天文学
401	1999	8.21 巨大科学と天文学
402	1999	9.18 キトラ古墳の星座
403	1999	10.23 衝突する小天体
404	1999	11.20 天の川と銀河
405	1999	12.18 アンデスの巨大電波望遠鏡
406	2000	1.22 太陽系小天体とその探査
407	2000	2.26 始まったNEO観測
408	2000	3.18 宇宙から見る地球
409	2000	4.15 宇宙人はいるか
410	2000	5.20 惑星と星座
411	2000	6.17 彗星の故郷を求めて
412	2000	7.15 見え始めてきた銀河の進化
413	2000	8.26 私と天文（与謝野馨代行）
414	2000	9.16 極大期を迎えた太陽

415	2000	10.28 宇宙電波の追究
416	2000	11.18 21世紀の天文現象
417	2000	12.16 地球外生命を探る
418	2001	1.20 21世紀に活躍する天文衛星
419	2001	2.17 夜空はなぜ暗いか
420	2001	3.17 小惑星を見つけよう
421	2001	4.21 人間はいつまで人間をしてられるか
422	2001	5.19 X線で見た太陽
423	2001	6.16 元素の起源と宇宙の進化
424	2001	7.21 変光星
425	2001	8.18 150 cm望遠鏡で見る宇宙
426	2001	9.22 私と天文
427	2001	10.20 出現するか「しし座流星群」
特別記念	2001	11.01 大出現になるか、しし座流星群
428	2001	11.24 21世紀の皆既日食
429	2001	12.15 現代の天体物理学
430	2002	1.19 接近するNEO
431	2002	2.16 天体観測いろは
432	2002	3.16 宇宙の未来像
433	2002	4.20 宇宙
434	2002	5.18 古い星座と新しい星座
435	2002	6.15 2m望遠鏡が目指すこと
436	2002	7.27 楽しい天文学
437	2002	8.17 最近の人工衛星
438	2002	9.21 宇宙から宇宙を見る
439	2002	10.19 銀河を探る
440	2002	11.16 見えないものを見る－天文がの営み
441	2002	12.21 太陽黒点とともに
442	2003	1.18 アルマ（ALMA）への道
443	2003	2.15 小惑星の観測
444	2003	3.15 最新の宇宙論
445	2003	4.19 宇宙に夢中
446	2003	5.17 すばる望遠鏡による微小小惑星探し
447	2003	6.21 宇宙に飛びだした生物たち
448	2003	7.19 楕円軌道あれこれ
449	2003	8.16 大接近する火星
450	2003	9.20 日本中国の古代天文知識
451	2003	10.18 小惑星のサンプルリターンの科学
452	2003	11.15 科学衛星が捉えた太陽コロナ
453	2003	12.20 天体写真の魅力
454	2004	1.17 宇宙開発が創り出した厄介者：スペースデブリ
455	2004	3.21 国立（東京）天文台35年、駿台天文台38年
456	2004	3.27 宇宙に取りつかれた男たち
457	2004	4.17 宇宙
458	2004	5.15 小惑星と小惑星探査
459	2004	6.19 手作り望遠鏡で宇宙を眺める
460	2004	7.17 超新星を探る（アマチュアの天体観測法の変遷）
461	2004	8.21 月の資源を使う
462	2004	9.18 宇宙の進化と銀河
463	2004	10.16 太陽と日食と国際協力
464	2004	11.20 お月見から月面基地
465	2004	12.18 天体と暦
466	2005	1.15 電波で探る宇宙

467	2005	2.19 すばる望遠鏡がとらえる宇宙の大構造
468	2005	3.19 太陽は地球のまわりを回るのか？
469	2005	4.16 宇宙と科学
470	2005	5.21 探査が明らかにする火星
471	2005	6.18 母なる太陽
472	2005	7.16 H R図と星の進化
473	2005	8.20 星のチャンピオンを求めて
474	2005	9.17 宇宙から宇宙を眺める
475	2005	10.15 2m望遠鏡が目指す宇宙
476	2005	11.19 γ 線のバースト
477	2005	12.17 スペースV L B Iが探る深宇宙
478	2006	1.21 天の川を測るV E R A (ベラ)
40周年	2006	1.28 宇宙の果に迫る
479	2006	2.21 天地人を考える
480	2006	3.18 巨大望遠鏡「すばる望遠鏡」の最前線
481	2006	4.15 宇宙は面白いのか
482	2006	5.20 天文現象と天文計算
483	2006	6.17 第10惑星はあるか
484	2006	7.15 天文ファンとともに
485	2006	8.19 地下から見た宇宙 (スーパーカミオカンデとニュートリノ天文学)
486	2006	9.16 恒星の晩期進化と質量放出
487	2006	10.21 C C Dカメラの楽しさ
488	2006	11.18 天の川を見通す
489	2006	12.16 太陽系外に惑星を探す
490	2007	1.20 はやぶさが見た小惑星イトカワ
491	2007	2.17 故磯部先生の天文学
492	2007	3.17 クェーサーの謎
493	2007	4.15 宇宙は面白いのか
494	2007	5.19 質の高い照明をめざして
495	2007	6.16 古星図と天文学
496	2007	7.21 さまざまな波長で見る天体
497	2007	8.18 メロスが見た星
498	2007	9.15 科学者のまじめな宇宙人探し
499	2007	10.20 アルマ電波望遠鏡が見る宇宙
500	2007	11.17 [500回記念] 大きいことと小さいこと
501	2007	12.25 太陽系の小天体とその探査
502	2008	1.19 宇宙と生命
503	2008	2.16 銀河と宇宙の進化
504	2008	3.15 銀河と宇宙の広がり
505	2008	4.19 平和憲法…宇宙のどこかの星で
506	2008	5.17 「あかり」が見た赤外線宇宙
507	2008	6.21 「ひので」がとらえる太陽
508	2008	7.19 皆既日食と太陽
509	2008	8.16 銀河と天の川
510	2008	9.20 電波で見る太陽(受講者3万名記念音楽会)
511	2008	10.18 「かぐや」の月探査
512	2008	11.15 ガリレオの考えた宇宙
513	2008	12.20 星とクリスマス
514	2009	1.17 川口科学館と太陽
515	2009	2.21 「すざく」が見た熱い宇宙
516	2009	3.21 これから進める宇宙開発
517	2009	4.18 宇宙を作ろう - 宇宙の森で基地づくり
518	2009	5.16 ガリレオの見た宇宙

519	2009	6.20 皆既日食を撮影しよう
520	2009	7.18 3万 kmの電波望遠鏡で見る宇宙
521	2009	8.15 宇宙を精密に測る
522	2009	9.19 宇宙でのリサイクリング
523	2009	10.17 ガリレオの宇宙から400年
524	2009	11.28 躍動する太陽
525	2009	12.19 アインシュタインの奏でる宇宙からのメロディー--重力波
526	2010	1.16 第2の地球を見つける
527	2010	2.20 太陽は巨大な実験室
528	2010	3.20 宇宙はどのようにできたか？そして、どうなるのか？
529	2010	4.17 素粒子の目で見る宇宙
530	2010	5.15 太陽の長い冬
531	2010	6.19 わが社のキャッチコピー Learning through the Universe !!
532	2010	7.17 宇宙を継ぐもの
533	2010	8.21 おもしろい木星観測
534	2010	9.18 お帰りなさい「はやぶさ」
535	2010	10.16 宇宙の魅力
536	2010	11.20 君の夢をのせて飛ぶロケット
537	2010	12.18 こんな宇宙を伝えたい
538	2011	1.15 地球隕石孔の話
539	2011	2.19 星空を撮りながら考えたこと
540	2011	3.19 楽しい宇宙
541	2011	4.16 おじさんは宇宙人～森本雅樹先生を偲んで～
542	2011	5.21 宇宙帆船「イカロス」と太陽系大航海時代の幕開け
543	2011	6.18 天文学と日本の古代史：七世紀
544	2011	7.16 宇宙と生命
545	2011	8.20 ジャスミン計画と天の川銀河
546	2011	9.17 なぜ金星を目指すのか（探査機あかつきの航海）
547	2011	10.15 星座の起源とものがたり
548	2011	11.19 太陽のふしぎ
549	2011	12.17 新星の話～観測をしない天文学者は何をしているのか？～
550	2012	1.21 天文学の60年
551	2012	2.18 モーツァルト「ジュピター」によせて
552	2012	3.17 心で宇宙を観る
553	2012	4.21 VERAが挑む銀河系の精密立体地図作り
554	2012	5.19 29年ぶりの金環日食
555	2012	6.16 太陽観測衛星「ひので」と金星の太陽面通過
556	2012	7.21 日食と古代史
557	2012	8.18 『理科年表』天文部について
558	2012	9.15 はやぶさ帰還
559	2012	10.20 赤色巨星の吐息
560	2012	11.17 超小型衛星による新しい宇宙開発への挑戦
561	2012	12.15 デジタルカメラで撮る天体
562	2013	1.19 はやぶさが持ち返ったイトカワの塵に秘められた小惑星形成史
563	2013	2.16 宇宙の加速膨張の発見
564	2013	3.16 宇宙と元素を考える
565	2013	4.20 銀河の写真のみかた
566	2013	5.18 世界最大の望遠鏡TMT
567	2013	6.15 大気突入の科学 ～隕石から「はやぶさ」カプセルまで～
568	2013	7.20 銀河のサーベイ ― 過去、現在、未来 ―
569	2013	8.17 「ヒッグス粒子」の発見
570	2013	9.21 手作り望遠鏡製作
571	2013	10.19 重力波装置「かぐら」で切りひらく新しい天文学

572	2013	11.16 第十惑星の発見と天体力学
573	2013	12.21 国立天文台アーカイブ
574	2014	1.18 HR図の読み方
575	2014	2.22 南の島の天文台
576	2014	3.15 宇宙に外側はあるか？
577	2014	4.19 村山定男先生 そして、科学を伝えるということ
578	2014	5.17 すばる望遠鏡用大型カメラHyper Suprime-Cam:ダークエネルギー
579	2014	6.21 暦について
580	2014	7.19 宇宙観測用CCDイメージセンサのものづくりの現場
581	2014	8.16 水路部での仕事について
582	2014	9.20 南極天文台
583	2014	10.18 世界で一番高い天文台
584	2014	11.15 宇宙の中の地球
585	2014	12.20 スペックル観測、ベテルギウス
586	2015	1.17 メシエカタログ
587	2015	2.21 世界最大の電波望遠鏡：SKA
588	2015	3.28 暗黒物質
589	2015	4.18 1960年代の天文学の衝撃
590	2015	5.16 系外惑星から宇宙生物学へ
591	2015	6.20 ETはいるか？ - 地球外の知的生命体を探る
592	2015	7.18 はやぶさ2の新たな挑戦
593	2015	8.15 兵用天文学の展開 — 「戦場に輝くベガ」に描かれた現実
594	2015	9.19 宇宙線の歴史を屋久杉で探る
595	2015	10.17 極限宇宙を探る宇宙線天文学
596	2015	11.21 なぜ宇宙はブラックホールを造ったのか？
597	2015	12.19 「宇宙宅急便 こうのとりの」の目指したもの
598	2016	1.16 天体写真アーカイブ 過去の天体写真乾板のデジタル化
599	2016	2.20 宇宙背景放射の50年 — インフレーション宇宙の重力波とPOLARB
600	2016	3.19 [600回記念] アインシュタインの一般相対性理論とインフレーション
601	2016	4.16 キトラ古墳天文図
602	2016	5.21 宇宙、千曲川に沿って
603	2016	6.18 超新星の出現をとらえる
604	2016	7.16 星が「死ぬ」とはどういうことか — 超新星爆発の謎に迫る
605	2016	8.20 宇宙に生きる
606	2016	9.17 神経細胞を用いて宇宙放射線の脳への影響を検証する
607	2016	10.15 宇宙の始まりの理論について — 超ひも理論（超弦理論）との関
608	2016	11.19 超弦理論と宇宙の始まり
609	2016	12.17 重力波天文学の幕開け？重力波初検出と今後の展開
610	2017	1.28 もうすぐ見える？巨大ブラックホール
611	2017	2.18 レーザーによる宇宙ゴミの除去 (EUSO プロジェクト)
612	2017	3.18 太陽系小天体の謎 — 予測通りにならないから面白い—
613	2017	4.15 宇宙ゴミ除去のビジネス化を目指して
614	2017	5.20 ブラックホール観測の展開 -ホシはクロか？-
615	2017	6.17 月面衝突閃光
616	2017	7.15 アルマ望遠鏡で探る星々のルーツ
617	2017	8.19 私たちはなぜ星空案内をするのか？ ～星のソムリエ活動とその目
618	2017	9.16 すべての人に星空を —宇宙と私たちのつながり—
619	2017	10.21 宇宙インフレーション理論の最近の進展 — 科学記者の目から —
620	2017	11.18 ハッブル 宇宙を広げた男
621	2017	12.16 宇宙に満ちる謎ダークエネルギー
622	2018	1.20 天体の地球衝突問題とその対応
623	2018	2.17 重力波天体が放つ光の初観測 — 金やプラチナの誕生現場、中性子
624	2018	3.17 宇宙最大の爆発天体ガンマ線バースト

625	2018	4.21 ノーベル賞と宇宙
626	2018	5.19 ルメートル神父の宇宙
627	2018	6.16 火星の接近を迎えて
628	2018	7.21 O Sole Mio!
629	2018	8.18 望遠鏡の鏡面蒸着はどのようにするのか? ― 自作真空蒸着装置
630	2018	9.15 星雲遭遇と恐竜絶滅― 巨大隕石衝突だけではなかった
631	2018	10.27 アストロバイオロジー: 宇宙における生命の起源と探査
632	2018	11.17 オールトの雲と彗星
633	2018	12.15 (仮題)空と月と暦 ― 天文学の身近な話題
634	2019 2021年1.19	御池山隕石クレーターの研究過程
635	2019	2.16 (仮題)歴史書から探る太陽活動
636	2019	3.16 (仮題)これからの太陽系探査は何を目指すべきか
637	2019	4.20 人類の未来と宇宙を考える
638	2019	5.18 天の川で「見えない」ブラックホールを探す
639	2019	6.15 スーパーコンピューター「アテルイII」で迫る宇宙の謎
640	2019	7.20 水沢緯度観測所の歴史と文化遺産
641	2019	8.17 走っているものは時間が遅れ、長さが縮む ― ローレンツ博士の
642	2019	9.21 重力波天文学, 芽生えから開花へ
643	2019	10.19 京1000年の天文学街道
644	2019	11.16 宇宙をうたう ― 短歌のなかの天体や探査機
645	2019	12.21 人類が初めて捉えたブラックホールの姿
646	2020 2020年1.18	暦の話題
647	2020	2.15 人類の宇宙観の変遷
648	2020 3.21(21年8月に(仮題)地球・生命の起源と進化	
649	2020 4.18(10月に延)オズマ計画から 60 年―地球外文明探査の軌跡―	
650	2020 5.16(11月に延)東京大学・木曾観測所・新広視野動画 カメラ・トモエゴゼン	
651	2020 6.20(1月に延)宇宙が子どもの心に火を灯す	
652	2020	7.18 新しい駿台学園75cm望遠鏡の開発
653	2020 8.15(12月に延)星間ダストと暗黒星雲のお話	
654	2020	9.19 はやぶさ2の初期成果と太陽系研究の新展開
655	2020 10.17(4月より)オズマ計画から 60 年―地球外文明探査の軌跡―	
656	2020 11.21(5月より)東京大学・木曾観測所・新広視野動画カメラ・トモエゴゼン	
657	2020 12.19(8月より)星間ダストと暗黒星雲のお話	
658	2021 2021.1.16(6月)宇宙が子どもの心に火を灯す KU-MA「宇宙の学校」親子による体	
659	2021	2.20 ジョージ・ガモフとビッグバン宇宙論
660	2021	3.27 シリウスのお話
661	2021	4.17 第25太陽活動周期の始まりと次期太陽観測衛星Solar-C_EUVST計画
662	2021	5.15 太陽磁場の観測
663	2021	6.19 星の質量と生命誕生の秘密---私たちはどこから来たのか?
664	2021	7.17 京大岡山3.8mせいめい望遠鏡
665	2021 8.21(20年3月)地球・生命の起源と進化「ハビタブルな宇宙」	
666	2021	9.18 [天文教育普及賞受賞記念]国際天文学連合 (IAU) と日本の天文学
667	2021	10.16 一般相対性理論の成立とアインシュタインの日本訪問
668	2021	11.20 火星の地質を調べる―各国の火星探査と火星衛星探査計画MMX
669	2021	12.18 野辺山の電波望遠鏡の話
670	2022	国立天文台前史 水沢緯度観測所の木村栄
671	2022	2.19 VERAが作った銀河系地図
672	2022	3.19 宮沢賢治と一緒に銀河鉄道に乗ろう
673	2022	4.16 ドップラー: その人生と業績
674	2022	5.21 星で望遠鏡を楽しむ天体望遠鏡博物館
675	2022	6.18 初期宇宙の観測的研究
676	2022	7.16 広視野カメラの開発による観測的宇宙論の展開
677	2022	8.20 ジェイムズ・ウェッブ宇宙望遠鏡と期待される成果

678	2022	9.17 地球接近天体探索の新展開
679	2022	10.15 太陽の活発な活動と宇宙天気予報
680	2022	11.19 太陽系の起源をめぐる小天体探査—小惑星リュウグウサンプルリタ
681	2022	12.17 すばる望遠鏡とAIとバーチャルリアリティ
682	2023 (2023)	1.21 標準時制度の成立・普及の歴史
683	2023	2.18 ガイア天体カタログ
684	2023	3.25 南極アイスキューブ—素粒子と宇宙に魅せられた科学者の軌跡—宇
685	2023	4.15 太陽の科学 —その基礎から最新の成果まで—
686	2023	5.20 私達は宇宙からやってきたらしい
687	2023	6.17 太陽コロナはなぜ熱いか - 波の果たす役割
688	2023	7.15 VR (バーチャルリアリティ) を使った考古天文学
689	2023	8.19 銀河考古学：古い星に刻まれた銀河形成史と暗黒物質の正体
690	2023	9.16 銀河宇宙線の科学 - 地球環境への影響を中心に -
691	2023	10.21 はやぶさ 2 が明らかにした太陽系の形成
692	2023	11.18 M87ブラックホールの降着円盤とジェットの写真
693	2023	12.16 ALMA の最近の成果
694	2024 (2024)	1.2 星空を守る仕事 — 国立天文台周波数資源保護室
695	2024	2.17 古今東西の哲学者の宇宙観 太陽活動の気候/気象への影響 ～ 数十日スケールから千年ス
696	2024	3.16 ケールまで
697	2024	4.20 太陽活動「極大期」到来 早まる？
698	2024	5.18 アルマ望遠鏡で探る高速電波バーストの出現環境
699	2024	6.15 コペルニクス生誕 550 年
700	2024	7.20 ついに捉えた背景重力波—パルサーで時空のうねりを照らし出す
701	2024	8.17 小惑星研究から見えてきた太陽系の姿
702	2024	9.21 宇宙のはじまりとインフレーション理論
703	2024	10.19 銀河の輝線強度マッピング観測と機械学習の応用
704	2024	11.16 ガンマ線バースト観測衛星 HiZ-GUNDAM 計画
705	2024	12.21 宇宙で最初に生まれた星たち
706	2025 (2025)	1.18 フランス、ストラスブール天文台の天文データベースサービス
707	2025	2.15 再帰新星 かんむり座T星
708	2025	3.15 超伝導技術で挑む銀河とブラックホールの謎
709	2025	4.12 第25太陽活動周期極大期はもう終わりか？ 観測ロケット実験 FOXSI、5分間の挑戦：
710	2025	5.17 活動する太陽が放つX線光子を捉える
711	2025	6.21 X線天文衛星 XRISM とその成果
712	2025	7.19 すばる望遠鏡26周年の歩みと誰でも楽しめるデジタルコンテンツ
713	2025	8.16 地球接近天体と日本スペースガード協会の活動
714	2025	9.20 小さな天体が起こす大事件 - 新星，超新星， γ 線バースト- ジェイムズ・ウェッブ宇宙望遠鏡でみる
715	2025	10.18 宇宙初期の銀河とブラックホール
716	2025	11.15 流星群の予報研究
717	2025	12.20 駿台天文講座の60年、他
718	2026 (2026)	1.17 ウィキペディアを通じた天文普及
719	2026	2.21 (仮決定) Gaiaカタログ
720	2026	3.21 (仮題) 古代における天文学と現代への影響
721	2026	4.18

722	2026	5.16
723	2026	6.20 惑星観測宇宙望遠鏡「ひさき衛星」
724	2026	7.18

村山定男	国立科学博物館理化学部
水野良平	五島プラネタリウム
水野良平	五島プラネタリウム
宮地政司	東京大学東京天文台元台長
鐔木政岐	東京大学
小森幸正	日本アストロドーム
保積善太郎	天文と気象編集長
串田孫一	東京外国語大学
高瀬文志郎	東京大学東京天文台
村山定男	国立科学博物館理化学部
水野良平	五島プラネタリウム
村山定男	国立科学博物館理化学部
河原郁夫	神奈川青少年センター
進士晃	海上保安庁水路部
宮地政司	東京大学東京天文台元台長
磯部琇三	埼玉大学
西恵三	東京大学東京天文台
村山定男	国立科学博物館理化学部
田中済	東京大学理学部
富田弘一郎	東京大学東京天文台
水野良平	五島プラネタリウム
村山定男	国立科学博物館理化学部
高瀬文志郎	東京大学東京天文台
鐔木政岐	東京大学
真鍋良之助	東京大学東京天文台
田中済	東京大学理学部
北村正利	東京大学東京天文台
堀源一郎	東京大学理学部
内海和彦	東京学芸大学
山下泰正	東京大学理学部
宮地政司	東京大学東京天文台元台長
宮本昌典	東京大学東京天文台
村山定男	国立科学博物館理化学部
西恵三	東京大学東京天文台
富田弘一郎	東京大学東京天文台
鐔木政岐	東京大学
寿岳潤	東京大学東京天文台
田中済	東京大学理学部
下保茂	東京大学東京天文台
古在由秀	東京天文台
牧田貢	東京大学東京天文台
磯部琇三	東京大学東京天文台
宮地政司	東京大学東京天文台元台長
山崎篤磨	東京大学教養学部
村山定男	国立科学博物館理化学部
青木信仰	東京大学東京天文台
田鍋浩義	東京大学東京天文台
鐔木政岐	東京大学
村山定男	国立科学博物館理化学部
日江井栄二郎	東京大学東京天文台
寿岳潤	東京大学東京天文台
進士晃	海上保安庁水路部
田中捷雄	東京大学理学部

磯部瑠三	東京大学東京天文台
宮地政司	東京大学東京天文台元台長
堀源一郎	東京大学理学部
村山定男	国立科学博物館理化学部
水野良平	五島プラネタリウム
田中済	東京大学理学部
鎗木政岐	東京大学
石田恵一	東京大学東京天文台
平林久	東京大学理学部
小尾信弥	東京大学教養学部
村山定男	国立科学博物館理化学部
長沢工	東京大学地震研究所
寿岳潤	東京大学東京天文台
広瀬秀雄	東京大学東京天文台台長
宮地政司	東京大学東京天文台元台長
森本雅樹	東京大学東京天文台
村山定男	国立科学博物館理化学部
水野良平	五島プラネタリウム
笹尾哲夫	東京大学理学部
鎗木政岐	東京大学
石田恵一	東京大学東京天文台
寿岳潤	東京大学東京天文台
飯島重孝	東京大学東京天文台
下田真弘	東京学芸大学
小野実	東京大学東京天文台
森本雅樹	東京大学東京天文台
宮地政司	東京大学東京天文台元台長
大脇直明	東京学芸大学
村山定男	国立科学博物館理化学部
水野良平	五島プラネタリウム
堀源一郎	東京大学理学部
鎗木政岐	東京大学
寿岳潤	東京大学東京天文台
堀源一郎	東京大学理学部
小平桂一	東京大学東京天文台
富田弘一郎	東京大学東京天文台
前原英夫	東京大学東京天文台
石田恵一	東京大学東京天文台
進士晃	海上保安庁水路部
田中捷雄	東京大学東京天文台
村山定男	国立科学博物館理化学部
水野良平	五島プラネタリウム
大脇直明	東京学芸大学
鎗木政岐	東京大学

磯部瑠三	東京大学東京天文台
磯部瑠三	東京大学東京天文台
磯部瑠三	東京大学東京天文台
村山定男	国立科学博物館理化学部
磯部瑠三	東京大学東京天文台
磯部瑠三	東京大学東京天文台
古在由秀	東京天文台

磯部琇三	東京大学東京天文台
磯部琇三	東京大学東京天文台
小平桂一	東京大学東京天文台
磯部琇三	東京大学東京天文台
磯部琇三	東京大学東京天文台
磯部琇三	東京大学東京天文台
小田稔	東京大学宇宙航空研究所
磯部琇三	東京大学東京天文台
磯部琇三	東京大学東京天文台
磯部琇三	東京大学東京天文台
中嶋浩一	東京大学東京天文台
小平桂一	東京大学東京天文台
磯部琇三	東京大学東京天文台
小林悦子	五島プラネタリウム
堀源一郎	東京大学理学部
守山史生	東京大学東京天文台
磯部琇三	東京大学東京天文台
磯部琇三	東京大学東京天文台
奥田治之	京都大学理学部
松岡勝	東京大学宇宙航空研究所
村山定男	国立科学博物館理化学部
山下泰正	東京大学東京天文台
斎藤馨児	東京大学東京天文台
磯部琇三	東京大学東京天文台
古在由秀	東京天文台
飯島重孝	東京大学東京天文台
草稚道郎	宇宙開発事業団
清水実	東京大学東京天文台
磯部琇三	東京大学東京天文台
村山定男	国立科学博物館理化学部
香西洋樹	東京大学東京天文台
藤井旭	天体写真家
長沢工	東京大学地震研究所
富田弘一郎	東京大学東京天文台
金井三男	五島プラネタリウム
磯部琇三	東京大学東京天文台
磯部琇三	東京大学東京天文台
小林悦子	五島プラネタリウム
清水一郎	東京大学東京天文台
磯部琇三	東京大学東京天文台
堀源一郎	東京大学理学部
村山定男	国立科学博物館理化学部
田鍋浩義	東京大学東京天文台
池谷薫	法月鉄工
斎藤馨児	東京大学東京天文台
下保茂	三鷹光器
富田弘一郎	東京大学東京天文台
磯部琇三	東京大学東京天文台
日江井栄二郎	東京大学東京天文台
小平桂一	東京大学東京天文台
磯部琇三	東京大学東京天文台
古在由秀	東京天文台

森本雅樹	東京大学東京天文台
村山定男	国立科学博物館理化学部
水野孝雄	東京学芸大学
磯部琇三	東京大学東京天文台
小野実	東京大学東京天文台
前原英夫	東京大学東京天文台
大師堂経明	早稲田大学教育学部
渡辺悦二	東京大学東京天文台
宮本正太郎	京都大学花山天文台台長
松本俊雄	名古屋大学理学部
小林悦子	五島プラネタリウム
矢島信之	機械技術研究所
堀源一郎	東京大学理学部
磯部琇三	東京大学東京天文台
村山定男	国立科学博物館理化学部
中沢清	京都大学理学部
磯部琇三	東京大学東京天文台
M.K.V.バプー	国際天文学連合会長
古在由秀	東京天文台
長沢工	東京大学地震研究所
富田弘一郎	東京大学東京天文台
田村真一	東北大学理学部
舞原俊憲	京都大学理学部
小沼直樹	茨城大学理学部
松井孝典	東京大学理学部
藤井旭	天体写真家
桜井邦朋	神奈川大学工学部
村山定男	国立科学博物館理化学部
大谷浩	京都大学理学部
家正則	東京大学東京天文台
富田弘一郎	東京大学東京天文台
平林久	東京大学東京天文台
大師堂経明	早稲田大学教育学部
磯部琇三	東京大学東京天文台
川良公明	京都大学理学部
有本信雄	東京大学東京天文台
浜島清利	東京大学東京天文台
田村真一	東北大学理学部
石田恵一	東京大学東京天文台
村山定男	国立科学博物館理化学部
田中捷雄	東京大学東京天文台
松岡勝	東京大学宇宙科学研究所
磯部琇三	東京大学東京天文台
石黒正人	東京大学東京天文台
大島泰郎	三菱化成生命化学研究所
若松謙一	岐阜大学工業短期大学
古在由秀	東京天文台台長
堀源一郎	東京大学理学部
岡村定矩	東京大学東京天文台
安藤裕康	東京大学東京天文台
磯部琇三	東京大学東京天文台

斎田博	天文研究家
-----	-------

高瀬文志郎	東京大学東京天文台
小尾信弥	東京大学教養学部
藤本真克	東京大学東京天文台
小山ひさ子	国立科学博物館
阿部昭	星の手帖
本田実	倉敷天文台台長
小林悦子	五島プラネタリウム
井上圭典	海上保安庁水路部
佐藤弘一	緯度観測所
磯部琇三	東京大学東京天文台
日江井栄二郎	東京大学東京天文台
村山定男	国立科学博物館理化学部
富田弘一郎	東京大学東京天文台
小杉健郎	東京大学東京天文台
森本雅樹	東京大学東京天文台
木下宙	東京大学東京天文台
磯部琇三	東京大学東京天文台
金井三男	五島プラネタリウム
山崎篤磨	東京大学教養学部
海部宣男	東京大学東京天文台
高瀬文志郎	東京大学東京天文台
磯部琇三	東京大学東京天文台
磯部琇三	東京大学東京天文台
D.ホール	ハワイ天文台台長
村山定男	国立科学博物館理化学部
磯部琇三	東京大学東京天文台
広瀬洋治	天体写真家
吉田正太郎	東北大学理学部
原恵	青山学院大学
板橋伸太郎	日本天文研究会
杉本智	宇都宮市宮の原中学校
M.バウムバート	国際天文学連合
樋口八重子	諏訪天文同好会
鈴木和博	日本流星研究会
磯部琇三	東京大学東京天文台
向井正	金沢工業大学理学部
竹内均	科学雑誌「ニュートン」編集長
村山定男	国立科学博物館理化学部
中野主一	日本天文研究会
磯部琇三	東京大学東京天文台
長谷川哲夫	東京大学東京天文台
山本哲生	宇宙科学研究所
香西洋樹	東京大学東京天文台
平林茂人	天体写真家
三枝義一	日本天文学会
長沢工	東京大学地震研究所
藤森賢一	日本天文学会
磯部琇三	東京大学東京天文台
草下英明	科学評論家
村山定男	国立科学博物館理化学部
浦田武	東亜天文学会
森本雅樹	東京大学東京天文台
磯部琇三	東京大学東京天文台

広瀬洋治	天体写真家
宮木末雄	浜松ホトニクス
小林悦子	五島プラネタリウム
堀口進牛	日本天文学会
富田弘一郎	東京大学東京天文台
大野裕明	福島天文同好会会長
塩田和生	日食情報センター
堀源一郎	東京大学理学部
村山定男	国立科学博物館理化学部
山田陽志郎	横浜青少年科学普及協会
磯部琇三	東京大学東京天文台
渡部潤一	東京大学東京天文台
西城恵一	国立科学博物館
岩崎恭輔	京都大学花山天文台
斎藤国治	東京大学東京天文台
詫間等	川口市児童文化センター
富岡啓行	日本流星研究会
相馬充	国立天文台
磯部琇三	国立天文台
小平桂一	国立天文台
樋口敬二	名古屋大学水圏科学研究所
磯部琇三	国立天文台
的川泰宣	宇宙科学研究所
高柳雄一	N H K
西城恵一	国立科学博物館
桜井邦朋	神奈川大学工学部
西条善弘	天体写真家
高橋喜一郎	高橋製作所会長
平林久	宇宙科学研究所
橋本就安	L A T本部
磯部琇三	国立天文台
長谷川一郎	国際天文学連合
森本雅樹	国立天文台野辺山観測所所長
佐藤勝彦	東京大学理学部
池内了	国立天文台
祖父江義明	東京大学天文学教育研究センター
蓬茨靈運	立教大学理学部
中沢清	東京工業大学理学部
渡部潤一	国立天文台
大島泰郎	東京工業大学
長沢工	東京大学地震研究所
松井孝典	東京大学理学部
杉本大一郎	東京大学教養学部
小田稔	理化学研究所理事長
古在由秀	国立天文台台長
末松芳法	国立天文台
縣秀彦	駿台学園
水野孝雄	東京学芸大学
西城恵一	国立科学博物館
日江井栄二郎	東京大学東京天文台
小池田洋子	金沢星の会
小林悦子	五島プラネタリウム
堀源一郎	東京大学理学部

鍬目信三	国立天文台野辺山太陽電波観測所
磯部琇三	国立天文台
吉田正太郎	東北大学理学部
森本雅樹	国立天文台野辺山観測所所長
西城恵一	国立科学博物館
平林久	宇宙科学研究所
大越治	府立第三中学校
磯部琇三	国立天文台
中村士	国立天文台
栗原浩	神奈川工業高校
戎崎俊一	東京大学教養学部
石黒正人	国立天文台野辺山宇宙電波観測所
岡村定矩	東京大学理学部
磯部琇三	国立天文台
香西洋樹	国立天文台
森本雅樹	鹿児島大学教養部
唐牛宏	国立天文台
鍬目信三	国立天文台野辺山太陽電波観測所
山崎正	山崎天体観測所所長
原恵	青山学院大学
高橋淳	茨城県立古河第二高校
山崎篤磨	防衛大学校
西城恵一	国立科学博物館
R.ビンチェル他	
黒田武彦	兵庫県西はりま天文台台長
平林久	宇宙科学研究所
磯部琇三	国立天文台
新田尚	気象庁
森本雅樹	鹿児島大学教養部
加藤万里子	慶応大学理工学部
吉川真	通信総合研究所
福島登志夫	国立天文台
伊東昌市	杉並科学教育センター
西城恵一	国立科学博物館
福島英雄	国立天文台
前原英夫	国立天文台岡山観測所所長
堀源一郎	富山国際大学
岡崎彰	群馬大学教育学部
磯部琇三	国立天文台
桜井邦朋	神奈川大学工学部
森本雅樹	鹿児島大学教養部
平林久	宇宙科学研究所
寿岳潤	東海大学文明研究所
佐藤勝彦	東京大学理学部
小林悦子	五島プラネタリウム
奥村幸子	国立天文台野辺山宇宙電波観測所
大島泰郎	東京薬科大学
野本憲一	東京大学大学院理学系
石黒正人	国立天文台野辺山宇宙電波観測所所長
沢武文	愛知教育大学
磯部琇三	国立天文台
小平桂一	国立天文台台長
森本雅樹	鹿児島大学教養部

吉川真	通信総合研究所
鷹野敏明	国立天文台
詫間等	川口市児童文化センター
高見澤今朝雄	天体捜索家
遠山御幸	横浜子ども科学館
大島修	美星天文台
渡部潤一	国立天文台
相馬充	国立天文台
岡村定矩	東京大学理学部
磯部琇三	国立天文台
寺門和夫	「ニュートン」副編集長
森本雅樹	鹿児島大学
白井正明	弁護士
中野主一	日本天文研究会
小島卓雄	館林子ども科学館館長
原恵	青山学院大学
平林茂人	天体写真家
長沢工	国立天文台
平林久	宇宙科学研究所
堀源一郎	富山国際大学
輿石肇	航空宇宙技術研究所
磯部琇三	国立天文台
大島泰郎	東京薬科大学
森本雅樹	鹿児島大学
中村士	国立天文台
渡辺和郎	小惑星観測家
柳家小ゑん	落語家
田部一志	惑星研究家
出雲晶子	横浜子ども科学館
富岡啓行	日立市天気相談所
鷹野敏明	千葉大学
黒田武彦	兵庫県西はりま天文台台長
的川泰宣	宇宙科学研究所
磯部琇三	国立天文台
池内了	名古屋大学
森本雅樹	鹿児島大学
渡辺文雄	上田市教育委員会
高橋典嗣	明星大学
尾崎洋二	日本天文学会会長
高橋真理子	朝日新聞社
宮島一彦	同志社大学
中村昭子	神戸大学
半田利弘	東京大学天文学教育研究センター
石黒正人	国立天文台
吉川真	宇宙科学研究所
磯部琇三	国立天文台
坂田俊文	東海大学情報技術センター長
森本雅樹	鹿児島大学
永田美絵	五島プラネタリウム
渡部潤一	国立天文台
岡村定矩	東京大学理学部
磯部琇三	国立天文台
詫間等	川口市児童文化センター

鷹野敏明	千葉大学
相馬充	国立天文台
大島泰郎	東京薬科大学
平林久	宇宙科学研究所
吉岡一男	放送大学
磯部琇三	国立天文台
森本雅樹	鹿児島大学
内田豊	東京理科大学
辻本拓司	国立天文台
岡崎彰	群馬大学教育学部
橋本修	群馬県立ぐんま天文台
与謝野馨	衆議院議員
長沢工	国立天文台候補普及室
D.アッシャー	アーマー天文台
遠山御幸	横浜子ども科学館
堀源一郎	東京大学
吉川真	宇宙開発航空研究機構
磯部琇三	国立天文台
佐藤勝彦	東京大学理学部
森本雅樹	鹿児島大学
原恵	青山学院大学
圓谷文明	西はりま天文台
春日了	りょうちゃん館長
山田陽志郎	横浜青少年科学普及協会
村田泰宏	JAXA宇宙科学研究所
半田利弘	東京大学天文学教育研究センター
鷹野敏明	千葉大学
詫間等	川口市立科学館
石黒正人	国立天文台
磯部琇三	国立天文台
池内了	名古屋大学
森本雅樹	鹿児島大学
吉田二美	国立天文台
黒谷明美	JAXA宇宙科学研究所
大西道一	関西大学
田部一志	惑星研究家
河?公昭	名古屋大学
矢野創	JAXA宇宙科学研究所
清水敏文	国立天文台
田中千秋	天体写真家
木部勢志朗	JAXA
磯部琇三	国立天文台
的川泰宣	JAXA宇宙科学研究所
森本雅樹	鹿児島大学
吉川真	JAXA宇宙科学研究所
えびなみつる	漫画家
広瀬洋治	県立青少年センター
金森洋史	清水建設
児玉忠恭	国立天文台
高橋典嗣	明星大学
寺園純也	JAXA
相馬充	国立天文台
鷹野敏明	千葉大学

水本好彦	国立天文台
磯部瑠三	J S G A 理事長
森本雅樹	東京大学
佐々木晶	国立天文台
渡邊鉄哉	国立天文台
田辺俊彦	東京大学天文学教育研究センター
小林秀一	プロボクシング日本ウェルター級第41代チャンピオン
村田泰宏	JAXA宇宙科学研究所
黒田武彦	兵庫県立西はりま天文台台長
河合誠之	東京工業大学
平林久	JAXA宇宙科学研究所
本間希樹	国立天文台
岡村定矩	東京大学前理学部長
磯部瑠三	国立天文台
家正則	国立天文台
森本雅樹	東京大学
相馬充	国立天文台
渡部潤一	国立天文台
柳家小ゑん	落語家
石塚丈晴	静岡大学
橋本修	群馬県立ぐんま天文台
岡野邦彦	C C D 観測研究家
半田利弘	東京大学天文学教育研究センター
田村元秀	国立天文台
矢野創	JAXA宇宙科学研究所
平林久	JAXA宇宙科学研究所
谷口義明	愛媛大学
森本雅樹	東京大学
近田玲子	照明デザイナー
宮島一彦	同志社大学
鷹野敏明	千葉大学大学院
鮭名博	都立葛飾商業高校
平林久	JAXA宇宙科学研究所
石黒正人	国立天文台
小柴昌俊	東京大学(ノーベル物理学賞)
吉川 真	JAXA宇宙科学研究所
黒谷明美	JAXA宇宙科学研究所
辻本拓司	国立天文台
池内 了	総合大学院大学
森本雅樹	東京大学
村上 浩	JAXA宇宙科学研究所
渡邊鉄哉	国立天文台教授
福島英雄	国立天文台
水本好彦	国立天文台教授
浅井 歩	国立天文台野辺山電波観測所
加藤 学	JAXA宇宙科学研究所
平林久	JAXA宇宙科学研究所
樋泉（といずみ）あき	星空ナビゲーター
詫間 等	川口市立川口科学館
満田和久	JAXA宇宙科学研究所
的川泰宣	JAXA宇宙教育センター長
森本雅樹	東京大学
田中一郎	金沢大学

広瀬洋治	天体写真家
村田泰宏	JAXA宇宙科学研究所
本間希樹	国立天文台
半田利弘	東京大学天文学教育研究センター
平林 久	JAXA宇宙教育センター長
矢治健太郎	立教大学理学部
川村静児	国立天文台
田村元秀	国立天文台
柴田一成	京都大学大学院理学研究科附属天文台長
佐藤勝彦	東京大学
木舟 正	東京大学
柴崎清登	国立天文台教授
渡辺美和子	(株)渡辺教具製作所
平林 久	JAXA宇宙科学研究所
田部一志	惑星研究家
吉川 真	JAXA宇宙科学研究所
森本雅樹	東京大学
森田泰弘	JAXA宇宙科学研究所
濱根寿彦	ぐんま天文台
古宇田亮一	産業技術総合研究所
飯島 裕	天体写真家
水谷 仁	「ニュートン」編集長
黒田 武彦	西播磨天文台台長
森 治	JAXA宇宙科学研究所
谷川 清隆	国立天文台
大石 雅寿	国立天文台
郷田 直輝	国立天文台
今村 剛	JAXA宇宙科学研究所
木村 かおる	科学技術館
常田 佐久	国立天文台
加藤 万里子	慶應大学
古在 由秀	国立天文台名誉教授
中嶋 浩一	一橋大学名誉教授
石黒 正人	国立天文台
面高 俊宏	鹿児島大学理工学研究科
高橋 典嗣	日本スペースガード協会理事長
坂尾 太郎	JAXA宇宙科学研究所
谷川 清隆	国立天文台
中嶋 浩一	一橋大学名誉教授
永山 悦子	毎日新聞社科学環境部記者
泉浦 秀行	国立天文台岡山天体物理観測所
中須賀 真一	東京大学大学院工学系研究科
荒井 大作	(株)ニコン，映像カンパニー開発本部
中村 智樹	東北大学大学院理学系研究科
土居 守	東京大学大学院理学系研究科天文学研究教育センター
平林 久	JAXA宇宙科学研究所
富田 晃彦	和歌山大学
家 正則	国立天文台
山田 哲哉	JAXA宇宙科学研究所
岡村 定矩	法政大学
駒宮 幸男	東京大学
渡部 一浩	望遠鏡製作研究家
安東 正樹	東京大学/国立天文台

木下 宙	国立天文台
中桐 正夫	国立天文台
中嶋 浩一	一橋大学名誉教授
宮地 竹史	国立天文台
松原 隆彦	名古屋大学
辻篤子	朝日新聞社
宮崎聡	国立天文台
西城恵一	国立科学博物館
村松雅治、鈴木久則	浜松ホトニクス
金川真一	元海上保安庁水路部
市川隆	東北大学
本原顕太郎	東京大学天文教育研究センター
小久保英一郎	国立天文台
三浦則明	北見工業大学
中嶋浩一	一橋大学名誉教授
高橋慶太郎	熊本大学
鈴木洋一郎	東京大学宇宙線研究所
平林久	JAXA宇宙科学研究所
須藤靖	東京大学大学院理学系研究科
大島泰郎	共和化工株式会社 環境微生物学研究所 所長
吉川真	JAXA宇宙科学研究所
高橋智子	山梨大学大学院総合研究部
三宅芙沙	名古屋大学高等研究院太陽地球環境研究所
川田和正	東京大学宇宙線研究所
谷口義明	愛媛大学宇宙進化研究センター長
葛西徹	JAXA有人宇宙技術部門 HTV技術センター
中嶋浩一	一橋大学名誉教授
長谷川雅也	高エネルギー加速器研究機構素粒子原子核研究所
佐藤勝彦	自然科学研究機構 機構長
相馬 充	国立天文台
平林 久	JAXA宇宙科学研究所
広瀬 洋治	天体写真家
田中 雅臣	国立天文台
黒谷 明美	JAXA宇宙科学研究所
岡野ジェイムス洋尚	東京慈恵会医科大学医学部
中嶋 浩一	一橋大学名誉教授
杉本 茂樹	京都大学基礎物理学研究所
麻生 洋一	国立天文台
本間 希樹	国立天文台水沢VLBI観測所長
滝澤 慶之	理化学研究所
渡部 潤一	国立天文台
瀬戸 裕基	(株)アストロスケール エンジニア
平林 久	JAXA宇宙科学研究所
柳澤 正久	電気通信大学
平松 正顕	国立天文台チリ観測所
柴田 晋平	山形大学
高橋 真理子	星空工房アルリシャ 代表
中島 林彦	日本経済新聞科学技術部記者
家 正則	国立天文台
吉井 譲	東京大学
吉川 真	JAXA宇宙科学研究所
田中 雅臣	国立天文台
村上 敏夫	金沢大学

平林 久	JAXA 宇宙科学研究所
中嶋 浩一	一橋大学名誉教授
田部 一志	惑星研究家, (株)リブラ代表取締役
渡邊 鉄哉	国立天文台
渡部 一浩	望遠鏡製作研究家
二村 徳宏	日本スペースガード協会
山岸 明彦	東京薬科大学
樋口 有理可	国立天文台RISE月惑星探査検討室
米山 忠興	東洋大学
坂本 正夫	飯田市美術博物館
磯部 洋明	京都市立芸術大学美術学部
的川 泰宣	JAXA 宇宙科学研究所
平林 久	JAXA 宇宙科学研究所
岡 朋治	慶應義塾大学理工学部
滝脇 知也	国立天文台科学研究部
亀谷 收	国立天文台水沢VLBI観測所
中嶋 浩一	一橋大学名誉教授
正田 亜八香	国立天文台重力波プロジェクト推進室
小山 勝二	京都大学
松村 由利子	歌人
秦 和弘	国立天文台 水沢VLBI観測所
小澤 潤	日本カレンダー暦文化振興協会
中嶋 浩一	一橋大学名誉教授
井田 茂	東京工業大学 地球生命研究所
平林 久	JAXA 宇宙科学研究所
諸隈 智貴	東京大学大学院理学系研究科・理学部
並木 道義	KU-MA 子ども・宇宙・未来の会 会長
渡部 一浩	望遠鏡製作研究家
土橋 一仁	東京学芸大学教育学部
杉田 精司	東京大学大学院理学系研究科
平林 久	JAXA 宇宙科学研究所
諸隈 智貴	東京大学大学院理学系研究科・理学部
土橋 一仁	東京学芸大学教育学部
並木 道義	KU-MA 子ども・宇宙・未来の会 会長
中嶋 浩一	一橋大学名誉教授
竹田 洋一	元国立天文台
渡邊 鉄哉	国立天文台名誉教授
鹿野 良平	国立天文台教授
田中 培生	元東京大学理学部准教授
長田 哲也	京都大学教授
井田 茂	東京工業大学地球生命研究所 教授
岡村 定矩	東京大学名誉教授
中嶋 浩一	一橋大学名誉教授
宮本 英昭	東京大学教授
平林 久	JAXA 宇宙科学研究所
馬場 幸栄	一橋大学助教
本間 希樹	国立天文台教授
谷口 義明	放送大学教授
家 正則	国立天文台名誉教授
村山昇作	天体望遠鏡博物館 代表理事
柏川伸成	東京大学大学院理学系研究科教授
宮崎 聡	国立天文台教授
播金優一	東京大学宇宙線研究所助教

奥村真一郎	日本スペースガード協会理事長
草野 完也	名古屋大学宇宙地球環境研究所 所長
橋 省吾	東京大学大学院理学系研究科教授
嶋川 里澄	国立天文台特任助教
石橋 悠人	中央大学文学部教授
中嶋 浩一	一橋大学名誉教授
吉田 滋	千葉大学教授
渡邊 鉄哉	国立天文台名誉教授
大石雅壽	国立天文台周波数資源保護室アドバイザー
岡本 丈典	国立天文台助教
関口 和寛	国立天文台 名誉教授
千葉 証司	東北大学教授
水本 好彦	国立天文台名誉教授
渡邊 誠一郎	名古屋大学大学院環境学研究科 教授 イベント・ホライズン・テレスコープ メン バー
田崎 文得	立天文台アルマプロジェクト 教授
深川 美里	国立天文台周波数資源保護室 室長
平松 正顕	一橋大学 名誉教授
中嶋 浩一	武蔵野美術大学教養文化・学芸員課程研究室 教授
宮原 ひろ子	国立天文台 名誉教授
渡邊 鉄哉	国立天文台アルマプロジェクト准教授
廿日出文洋	東京大学 名誉教授 高知工科大学 特任教授
須藤 靖	熊本大学 教授
高橋慶太郎	JAXA宇宙科学研究所 准教授
吉川 真	国立天文台教授
郡 和範	東京大学大学院理学系研究科附属ビッグバン 宇宙国際研究センター 助教
森脇 可奈	東京都市大学准教授
津村 耕司	国立天文台教授
青木 和光	一橋大学名誉教授
中嶋 浩一	多賀町立博物館館長
高橋 進	東京大学教授
河野 孝太郎	国立天文台名誉教授
渡邊 鉄哉	
成影 典之	国立天文台・太陽観測科学プロジェクト 助教
藤田 裕	東京都立大学大学院理学研究科 教授
臼田-佐藤 功美子	国立天文台ハワイ観測所
浅見 敦夫	日本スペースガード協会
	東京大学理学系研究科
茂山 俊和	ビッグバン宇宙国際研究センター
播金 優一	東京大学宇宙線研究所 助教
佐藤 幹哉	国立天文台 天文情報センター
中嶋 浩一	一橋大学名誉教授
小林 道生	ウィキプロジェクト天体
西 亮一	新潟大学大学院自然科学研究科 准教授
廣瀬 匠	アストローツ

吉川 一郎

東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授